



七尾中学校 学校だより
七尾の丘
校訓 「感 行」



マスコット“七王”(ななおう)

第8号

令和7年 10月 27日
廿日市市平良二丁目 2-34

TEL:0829-32-8200

中体連秋季大会～称えたいことは…～

10月4日に第73回大竹市・廿日市市中学校駅伝競走大会、10月11・12日に第74回大竹市・廿日市市中学校秋季総合体育大会が開催されました。本大会が1・2年生の新チームにとっては最初の大会であり（駅伝競走大会は3年生も出場可能ですが）、緊張と期待が入り混じる複雑な心境で、それぞれの部活動が健闘し、近年の七尾中の歴史にはないような凄い結果を残しました。

主な結果と、大会に参加した各部活動の新部長からのコメントを紹介します。

【駅伝競走大会の結果】

- ・男子の部第3位



【春季大会の主な結果】

○ 団体の部

- ・ソフトテニス部 女子団体第1位
- ・男子バスケットボール部 第1位
- ・柔道部 男子団体第1位 女子団体第1位
- ・剣道部 男子団体第1位 女子団体第2位 男子団体Bの部第1位 ・陸上競技部 男子総合第2位
- ・女子バスケットボール部 第2位 ・バレーボール部 第2位 ・サッカー部 第3位

○ 個人の部

- ・柔道男子個人 50kg級第2位 那和 紗 55kg級第2位、軽量級の部第3位 渡辺 清惺
60kg級第1位、軽量級の部第1位 河本 玲志
60kg級第3位、軽量級の部第3位 大股 咲多郎
66kg級第1位、重量級の部第3位 渡辺 敏太
81kg級第1位、重量級の部第2位 大田 栄仁
90kg超級第1位、重量級の部第1位 小島 大和
- ・柔道女子個人 40kg級第1位、無差別級の部第1位 田中 凜子
44kg級第1位、無差別級の部第2位 德永 遥依來
48kg級第1位、無差別級の部第3位 藤島 百花
- ・剣道男子個人 第2位 祖敷 幸太郎 第3位 川口 桜介、川口 律希
- ・陸上 共通男子800m第1位 大下 思音 第2位 若狭 英寿
共通男子砲丸投第1位 砂原 銀太朗
- ・ソフトテニス個人 第3位 大原 夕歩・宮浦 陽愛 ペア



【中体連秋季大会を終えて】(部代表者より)

- 大会では、団体戦優勝という結果を残すことができました。優勝が決まった瞬間みんなで喜ぶことができてとてもうれしかったです。ですが、今回の大会で見つけた課題を改善して次回の中体連でもう一度団体戦優勝と個人戦で全員が3位以内に入るという結果を残せるようにこれからも練習に取り組もうと思います。【女子ソフトテニス部】
- 今思うことは、みんなが日々暑い中練習に取り組んで、厳しい練習などもして、きつかったと思った日もありましたが、諦めずに、毎日練習に取り組んでくれたおかげで、入賞をすることができました。
これからはもっと、練習を頑張って、優勝を目指していきたいなと思います。【男子陸上競技部】
- 女子は人によってベスト8に入れた人もいましたが、惜しくも記録を更新できなかった人もいました。これから的新チームでは皆でしっかり協力でき、楽しく陸上ができるようにしていきたいです。
陸上で辛いことはたくさんありましたがそんなことを乗り越えてこそ陸上だと私は思っています。これから的新チームでも頑張っていきたいです。【女子陸上競技部】
- 今思うことは、秋季大会は新チームで団体優勝することができたので嬉しかったです。新チームの抱負は県大会で先輩たちの結果を超えるベスト8を超えるべく頑張ります。【男子剣道部】
- 仲間との絆や努力を続けることの大切さを改めて感じることのできた良い大会だったなと思います。完全な新チームで大会に望みましたが一年生や同級生、そして応援に来てくださった保護者の皆さんからパワーをもらい見事準優勝という素晴らしい結果を出せたことに誇らしいです。【女子剣道部】
- 悔しい結果に終わったので次の春季大会では良い結果を残して夏の大会では優勝したいです。そのために体作りや基礎練習などに一生懸命取り組んで大会で悔いの無いようにいいチームにしていきたいです。どんなことにも前向きに取り組みチーム全体として更に上のレベルにいけるように引っ張って行きたいです。【軟式野球部】
- 大会では一人ひとりが声を出しながら応援をして一生懸命試合をしていて良いと思いました。勝った人も、負けた人もそれぞれ学ぶことがあったと思うのでこれから練習で研究していきたいです。ほとんどの部員が県新人大会に出場するのでチームの団結力を深めながら練習に取り組んで行きます。【柔道部】
- 中体連秋季大会では三位になることができました。僕達は日々切磋琢磨し全力で練習に励んできました。今回の大会ではその練習の成果がでてとても嬉しいです。これからもこれまでのようにみんなで協力して頑張っていきたいです。次の春季大会では1位になれるように頑張りたいです。【サッカーチーム】
- 1位の山陽女学院(山女)に対しても、最後まで諦めずにフレイすることができました。しかし、ジャッジに対して間違った講義の仕方をしてしまい、心の余裕が無かったと、未熟さを感じ、とても反省しました。
新チームの抱負は中体連春季大会で山女に勝ち1位になって県大会出場にすることです。【女子バレーボール部】
- 秋季大会で優勝することができて本当に嬉しいです。支えてくださった保護者の方や先生方、指導してくださった顧問の黒谷先生、吉野先生に感謝の気持ちでいっぱいです。今回の結果や今の実力に満足せず、次の県大会に向けて努力を続けていきたいです。【男子バスケットボール部】
- 中体連秋季大会では、準優勝という結果でとても嬉しいです。いつも熱心に指導してくださった吉本先生、いつも応援してくださる大塚先生のおかげだと思っています。準優勝という結果は初めて取ることができましたが、うれしい反面悔しい気持ちもありました。この悔しさを忘れず春の大会では優勝を目指してチーム一丸となって頑張ろうと思います。【女子バスケットボール部】

今大会の七尾中の大会結果は素晴らしいものでした。しかし、結果以上に大切な事もあります。

本校のある部は、合同チームという特殊な形で、非常に難しい試合を戦いました。今回、結果は残せませんでしたが、新チームで始動してから、平日は単独で、休日は他校と合同で練習していました。単独練習の時も、合同練習の時も、腐ることなく元気な声を出し続け前向きに取り組む生徒の姿を見てきました。

彼らの気持ちを称えたいと思います。きっとこの経験は、勝利以上に大きな財産となるはずです。

働くとは・・・

8月26～29日のうちの三日間で、2年生はCSW（キャリア・スタート・ウィーク＝職場体験学習）を行いました。その報告を9月12日の授業参観で発表する予定だったのですが、当日はまさかの警報による臨時休業。急遽、2学年の先生方はCSWの様子を動画で編集し、10月1日に開催した修学旅行説明会の後に視聴してもらいました。

動画の中でもあったのですが、「働く」ということについて、CSW前後で生徒の意識が大きく変わっていました。

それぞれが体験した職場では、楽しいことばかりでなく大変なこともあったことでしょう。しかし、「大変」な経験をした時に、人は大きく変わります。

2年生の生徒のみなさんは、これまで3年生が支えてきた七尾中学校を引き継ぎ、さらに発展させていく時期になってきました。これからも、たくさん「大変」なことを乗り越えていきましょう！



芋が採れたぞー!!

七尾中のクラブハウスの裏側に、農園があることを知っていましたか？

これは、昨年、川本先生を中心に地域の方々の協力も得ながら、草が生い茂り、土中には大小さまざまな石が埋まっていた荒れ地を開墾して作った学校農園です。

その農園に、たくさんの大さなサツマイモができました！10月16日にぎんが学級の生徒やSSRの生徒で収穫をしました。

立派なサツマイモが採れましたので、10月28日（火）13:00～文化祭（展示の部）で保護者のみなさまにサツマイモの販売をします。

その収益で次の作物の苗や種を買い、また、次の作物を育てるというサイクルができたらなと考えています。

みなさまどうぞご協力お願いします！



「チーム担任制」の試行について

昨今の日本の職場では、子育てや介護など様々な事情を抱える人にあった、多様な働き方ができることが望まれています。さらには、多くの職種で働き手不足の状態であるため、多様な働き方の人たちと共に補い合いながら、業務を遂行しているのが実態です。

学校現場も例外ではなく、多様な働き方の教職員も一緒に、教員不足の問題に立ち向かいながら日々ギリギリの状況で何とか学校を動かしています。

しかし、いつ破綻するか分からぬギリギリの状態で学校は進んでいるため、本校においても、一部の学年では年度途中に学級担任が配置できなくなりそうな危機的状況もありました。

今、これまでの学校の当たり前を見直さなければならない時期が訪れています。

そこで、「チーム担任制」を試行します。「チーム担任制」とは、一般的に「学級担任を1年間1名で固定せずに、複数の教師が一定期間ごとに交代しながら学級を運営していく仕組み」と言われています。しかし、地域や学校の特色、学校の規模も様々であることから、「チーム担任制」という定義に固執せず柔軟に試行してみて、様々な課題や成果を把握していきたいと考えています。

試行の目的は主に次の2点です。

- ① いつ、「チーム担任制」を導入せざるを得ない状況になるかもしれないという現実を本校職員、生徒、保護者で共有する。
- ② 「チーム担任制」を導入した際に期待できる効果と、導入する場合に発生する課題について把握する。

試行期間・対象学年については、11月17日（月）～12月12日（金）の4週間とし、対象学年は第1・2学年です。第3学年は進路に係る業務の繁忙期となるため、試行はしません。

試行内容は、期間内を以下の原則にしたがってチームで担任します。ただし、やり方は学年と管理職で相談しながら進めています。

（原則）

- ・1週間は担任を固定する。
- ・これまで学級担任だった先生は、期間中に必ず1週間はサポート役を行う。
- ・特殊なケースを除き、家庭との連携もその週の担任が行う。
- ・特別支援学級は学級担任制を継続する。

試行後は、生徒・保護者・教職員にアンケートを実施し、成果と課題を把握します。

なお、試行期間中に家庭から学校へ連絡をする場合は、学年のどの先生に伝えてもらって構いません。いただいた連絡を、学年で共有し対応していきます。

保護者のみなさまにおかれましては、何か心配なことがありましたら、学校までご連絡ください。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

お知らせ

- 先日、何度もお願いしていた台湾基隆市生徒のホストファミリーの件ですが、七尾中保護者の暖かいご協力により、予定生徒数以上の受け入れ先が確保でき、他校で受け入れが困難になっていた生徒分まで、本校で受け入れることができました。本当にありがとうございました。

11月6・7日には、本校で4名の生徒が学校体験をされるので、学校を挙げてしっかりと歓迎し、七尾中生徒にとって有意義な国際交流となるようにしていきます。

※台湾基隆市との国際交流は、廿日市市教育委員会が主催で、隔年で訪問・受入を繰り返し実施している国際交流事業です。